

議長（志村 忠昭）

これをもって、提案者の提案理由の説明を終わります。

日程第29、議案第45号、平成27年度多度津町水道事業会計予算についてを、議題と致します。

提案者の提案理由の説明を求めます。

上下水道課長、河田君

上下水道課長（河田 数明）

議案第45号、平成27年度多度津町水道事業会計予算について、提案説明を申し上げます。

地方公営企業会計におきましては、水道事業予定損益計算書及び予定貸借対照表は消費税抜き、その他は消費税込みとなっております。

それでは、予算書1ページをお開きください。

第2条業務の予定量と致しまして、(1)月平均給水栓数は1万512栓で、前年度に対しまして56栓増となる予定でございます。

(2)年間配水量は333万5,000 m^3 で、前年度に対しまして7万5,000 m^3 減となる予定でございます。

年間配水量減の主な要因と致しましては、大口需要家の使用水量の減少とともに、一般家庭での節水意識の定着による使用水量の減少が予想されるためでございます。

それに伴い、(3)1日平均配水量は9,137 m^3 で、前年度に対しまして205 m^3 減となる予定でございます。

(4)主要な建設改良事業の配水設備工事費と致しまして、配水管新設工事及び老朽配水管更新工事、消火栓新設及び移設工事などで、1億9,393万7,000円を計上しております。

次に第3条収益的収入及び支出でございます。

収入の部、第1款水道事業収益と致しまして7億7,399万円を計上しております。

これは、前年度に対しまして1.5%、1,149万円の減額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項営業収益は6億9,718万1,000円を計上し、前年度に対しまして786万6,000円の減額となる予定でございます。

これは、年間配水量の減少に伴う水道使用料の減収を、見込んでいるためでございます。

第2項営業外収益は7,680万9,000円を計上し、前年度に対しまして362万4,000円の減額となる予定でございます。

これは、固定資産の減価償却に係る財源の収益化を計上する長期前受金戻入が、減額となる予定のためでございます。

次に、支出の部でございます。

第1款水道事業費用と致しまして7億4,630万9,000円を計上しております。

これは、前年度に対しまして3.2%、2,453万4,000円の減額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項営業費用は6億8,407万6,000円を計上し、前年度に対しまして1,141万2,000円の減額となる予定でございます。

これは主に、減価償却費の減額によるものでございます。

第2項営業外費用は6,023万2,000円を計上し、前年度に対しまして829万円の減額となる予定でございます。

これは主に、企業債支払利息の減額によるものでございます。

第3項特別損失は1,000円を計上し、前年度に対しまして483万2,000円の減額となる予定でございます。

これは主に、地方公営企業会計見直しに伴う移行措置として、平成26年度にのみ過年度分の賞与及び法定福利費を計上していたためでございます。

第4項予備費は、前年度と同額の200万円を計上しております。

収益的収入及び支出の明細書につきましては、19ページから30ページに記載しております。

次に、第4条資本的収入及び支出でございます。

収入の部、第1款資本的収入と致しまして1億6,018万7,000円を計上しております。

これは、前年度に対しまして11.2%、1,609万1,000円の増額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項企業債は1億5,500万円を計上し、前年度に対しまして2,500万円の増額となる予定でございます。

これは、配水管新設工事及び老朽配水管更新工事に充てるためのものでございます。

第2項工事負担金は518万7,000円を計上し、前年度に対しまして890万9,000円の減額となる予定でございます。

これは、消火栓新設及び移設工事に充てるためのもので、一般会計からの繰入でございます。

次に、支出の部でございます。

第1款資本的支出と致しまして3億9,931万5,000円を計上しております。

これは、前年度に対しまして0.3%、129万9,000円の増額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項建設改良費は1億9,710万3,000円を計上し、前年度に対しまして20万4,000円の減額となる予定でございます。

これは、配水管新設工事及び老朽配水管更新工事費、消火栓新設及び移設工事

費並びに量水器購入費でございます。

第2項企業債償還金は2億221万2,000円を計上し、前年度に対しまして150万3,000円の増額となる予定でございます。

以上の資本的収入及び資本的支出の予算計上によりまして、第4条に記載しておりますとおり、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億3,912万8,000円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,460万3,000円、当年度損益勘定留保資金1億6,097万2,000円、減債積立金4,000万円、建設改良積立金2,355万3,000円で補てんする予定でございます。

資本的収入及び支出の明細書につきましては、31ページから32ページに記載しております。

次に、2ページをお開きください。

第5条企業債でございますが、起債の目的は配水設備工事費、限度額1億5,500万円を定めるものでございます。

起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりでございます。

第6条一時借入金でございますが、一時的な資本不足を補うために、限度額5,000万円を定めるものでございます。

第7条予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合につきまして、(1)営業費用と営業外費用との間において執行できることを定めるものでございます。

第8条議会の議決を経なければ流用することのできない経費と致しまして、(1)職員給与費は7,900万7,000円を計上し、前年度に対しまして269万3,000円の減額となる予定でございます。

また、水道事業管理者の(2)交際費は、前年度と同額の10万円を計上しております。

給与費明細書につきましては、6ページから10ページに記載しております。

第9条たな卸資産購入限度額と致しまして513万8,000円を計上し、前年度に対しまして17万4,000円の減額となる予定でございます。

これは、営業費用の各目の材料費と材料売却原価の合計額に消費税を算入したものでございます。

次に、5ページをお開きください。

平成27年度多度津町水道事業予定キャッシュ・フロー計算書につきましては、末尾にありますとおり資金期末残高は、5億1,769万3,000円の予定でございます。

次に、11ページをお開きください。

平成27年度多度津町水道事業予定損益計算書につきましては、収益的収入及び支出の予算計上によりまして、1. 営業収益は6億4,584万3,000円、2. 営業費

用は6億5,752万7,000円ですので、営業損失は1,168万4,000円の予定でございます。

3. 営業外収益は7,601万5,000円、4. 営業外費用は4,977万8,000円ですので、経常利益は1,455万3,000円の予定でございます。

5. 特別損失は1,000円、6. 予備費は185万1,000円ですので、当年度純利益は1,270万1,000円の予定でございます。

また、前年度繰越利益剰余金は5億1,550万9,000円ですので、当年度未処分利益剰余金は5億2,821万円の予定でございます。

次に、12ページをお開きください。

平成27年度多度津町水道事業予定貸借対照表につきましては、資本的収入及び支出の予算計上によりまして、資産の部1. 固定資産合計は73億4,579万9,000円、2. 流動資産合計は6億4,611万6,000円ですので、資産合計は79億9,191万5,000円の予定でございます。

次に負債の部、3. 固定負債合計は30億2,686万1,000円、4. 流動負債合計は3億404万6,000円、13ページをご覧ください。

5. 繰延収益合計は18億4,489万4,000円ですので、負債合計は51億7,580万1,000円の予定でございます。資本の部、6. 資本金合計は22億6,076万1,000円の予定でございます。

7. 剰余金の資本剰余金合計は2,069万6,000円、利益剰余金合計は5億3,465万7,000円ですので、剰余金合計は5億5,535万3,000円の予定でございます。

従いまして、資本合計は28億1,611万4,000円、負債・資本合計は79億9,191万5,000円の予定でございます。

以上、誠に簡単でございますが、議案第45号の提案説明とさせていただきます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。